

普及計画及び活動記録（八重山地区）

事業項目	事業小項目	課題	普及及び活動経過
水産業改良普及事業	普及指導活動	糸モズク及びオキナワモズクの生育試験指導	<p>与那国比川地区、竹富町鳩間地区、竹富地区青年部及び生産グループ、11月～3月、協力漁協、市町</p> <p>(1) 糸モズクについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>。水試で試験培地により液体保存した、糸モズクの糸状体をファイバー製のタンク、パンライト水槽等使用して液状の糸状体をストレートに採苗タンクに投入して、10日～14日間を目安に採苗した。</li> <li>。種網は、鳩間地区に15枚、与那国地区に15枚、竹富地区に10枚を11月～12月にかけて沖出した。</li> <li>。育苗の結果、3地区とも全たく発芽生育はみられなかった。</li> <li>。原因については、分かっていないが網地の表面からの糸状体のはく離が原因ではないかと思われる。これは、支場での保存状況からも分かるように、オキナワモズクの盤状体と糸モズクの糸状体は、前者は非常に着生力が強いのに対し、後者は着生力が弱いように思われる。</li> <li>。液体保存による糸状体採苗は、糸満地区においても発芽、生育がみられないことから、今後、水試等で継続試験し、究明が必要であろう。</li> </ul> <p>(2) オキナワモズクについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>。オキナワモズクについては、石垣市登野城地区の池田氏が藻体採苗した種網10枚を12月4日に与那国地区に搬送し沖出し、育苗した。</li> <li>。沖出し後3月10日現在の生育状況は本張り後、3 cmから4 cm程度の大ききまでで生育した状態で伸長がみられない。</li> <li>。一方、登野城地区の竹富島の種網については、生育は順調であり藻体も10～20cmと伸長し収穫準備に入っている。</li> <li>。同一網でありながら、与那国地区と竹富地区との生育のちがいは何にか。？継続様子をみたい。</li> </ul>

事業項目	事業小項目	課題	普及及活動経過
			<p>モズク養殖漁場調査  4月～12月 石垣市・竹富町・与那国町 協力：市町・漁協  ・与那国地区については主に塩分濃度測定による場所の選定を行う。  その他については、低質（砂、砂利、モバ、礫）等について種網を設置して、生育状況等確認しながら場所の選定を行う。  天然シート採苗漁場調査  12月～2月 小浜・鳩間・竹富島 協力：町・漁協  ・ガラス水槽やパランライトによる種保存の変わりに、海上でビニールシートを敷つめて、天然の盤状体を直接採種する方法である。  ・調査した所3地区とも、シート採苗漁場として適地であることが分かった。  登野城、鳩間地区ではシート採苗による種付が行なわれている。</p> <p>ウニ礁調査  8月・12月 登野城沖 生産グループ 協力：市・漁協  ・水試支場のヤコウ貝の放流調査と平行して、ウニ礁内の海藻類の生育及び増集状況調査の実施  ・ヤコウ貝関連で支場報告書参照（担当、玉城研究員）</p> <p>魚類養殖指導  6月10日～11月5日 登野城漁港内 魚類研究会 協力：市・水試・日裁協・漁協  カシバチの中間育成及び標識放流（1,820尾）  試験研究機関成果報告会  3月6日 八重山漁協 八重山地区水産振興協議会主催  1. 成果発表課題及び発表者  (1) ヒレナガガパンバチの種苗生産と養殖試験結果について……………山本研究員  (2) ヤコウ貝の種苗生産と放流について……………玉城研究員  (3) 八重山地域におけるクナナギの生態について……………海老沢研究員  (4) キハマダグロの産卵について……………升間主任技術員  (5) カシバチの中間育成と放流について……………岡技術員  (6) スジアラの放流調査について……………手塚技術員</p>

事業項目	事業小項目	課題	普及及活動経過
<p>養殖試験実践報告</p>			<p>7) オキナワモズク養殖の実験        8) 養殖試験実践報告        登野城地区地先型増殖管理運営委員会        10月～3月 八重山漁協 市町・漁協        。沿岸漁場整備開発事業により造成した小規模増殖場及び大規模増殖場の適正かつ、効果的な管理、運営を図るために同運営委員会を設置するものである。        「管理運営規定」及び運営委員は別紙の通りである。        (県水産振興課長、水産試験場八重山支場長、石垣市役所水産課長、竹富町経済課長、八重山漁業協同組合長、八重山支庁水産係長、漁業権管理委員会代表、ウニ増殖研究会代表、同副会長)</p>
<p>普及職員等の研修</p>		<p>普及職員等の研修</p>	<p>普及職員業務連絡会議        第1回会議(5月6、7日)        1) 平成4年度漁業生産の担育育成事業計画        2) 年間実施計画について        3) 漁協青年部リーダー研修会の実施について        4) 実績発表大会の取組について        5) 漁業士育成事業について        6) 正壮年部移動相談について        7) 漁村婦人・高齢者活動促進事業実施計画        8) 平成4年度普及課題への取組について        9) 沖縄県普及活動基本計画(方針)の策定        10) 記念誌発行の取組について        11) その他(改善資金需要調査等)        第2回会議(9月28、29日)        1) 普及課題についてアンケート調査結果        2) 平成5年度漁業生産の担育育成事業計画        3) 平成4年度実績発表大会の取組について        4) 漁業士育成事業について(認定事業)</p>

事業項目	事業小項目	課題	普及活動経過
若い漁業者育成 確保促進事業	交流学習事業	技術交流会	<p>5) 平成5年度沿岸漁業改善資金需要調査結果</p> <p>6) 平成4年度普及事業中間報告について (担手、定着試験、技術改良試験、魚類養殖、漁船漁業等)</p> <p>7) 担当地区の主な活動状況(主として専門分野)</p> <p>8) その他</p> <p>第3回会議(3月19日)</p> <p>1) 平成5年度水産業改良普及事業実施計画</p> <p>2) 若い漁業者育成確保促進事業について</p> <p>3) 漁村はつらつライフ事業について</p> <p>4) 平成4年度普及活動報告について</p> <p>5) 漁村青年婦人活動実績発表大会について 了。平成4年度の反省点</p> <p>イ、今後の取組について</p> <p>6) その他(水産庁ヒヤリング報告事項等)</p>
			<p>モズク養殖及び品質管理について</p> <p>2月8日～10日 恩納村漁協・伊平屋漁協にて 漁協青年部 オキナワモズク種保存講習会</p> <p>6月2、3日 小浜地区 6月15～27日 登野城地区</p> <p>6月18、19日 与那国地区</p> <p>モズク品質管理について</p> <p>10月6、7日 鳩間地区 水産振興会 協力：町・漁協</p> <p>モズク養殖技術交流会</p> <p>5月12、13日 鳩間、竹富地区 青年部</p> <p>与那国漁協青年部と鳩間地区水産振興会、登野城地区養殖生産者との技術交流会。</p> <p>ソデイカ燻製加工講習会</p> <p>7月20、22日 与那国漁協婦人部</p>

事業項目	事業小項目	課題	普及及活動経過
		<p>交流会</p> <p>学習会</p>	<p>1月21日 八重山漁協にて 演題：「これからの地域活動」について 講師：全国指導農業士連絡協議会会長安部静雄 講演終了後沖縄県栽培漁業センター研究員による種苗生産技術及び養殖についての発表 が行なわれた。発表テーマは次の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 県栽培漁業センター業務内容説明</li> <li>(2) タカセガイ種苗生産技術について</li> <li>(3) シラヒゲウニ種苗生産技術について</li> <li>(4) シマアジ飼付け型漁場管理技術開発について</li> <li>(5) 魚類の養殖及び魚病について</li> </ol> <p>* 村越主任研究員、多和田主任研究員、与那嶺主任研究員、玉城研究員、木村研究員 * 水産振興課藤本主任技師</p> <p>漁業権設定に向けての調査指導</p> <p>10月9日 八重山漁協 10月13日 漁政課 10月27日 小浜地区 11月6日、1月18日 漁政課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八重山地区漁場計画検討会主に特定区画漁業権の取扱いについて</li> <li>・漁場計画作業部会の開催、各地区漁協から提出された計画案についての検討及び意見交換</li> <li>・小浜地区における漁場計画にあたっての漁業者との意見交換</li> <li>・漁場計画作業部会の開催、同計画について、最終案の検討</li> <li>・漁場計画案の説明会、基本方針今後のスケジュール等について、意見交換が行なわれた。</li> </ul> <p>与那国漁協指導</p> <p>4月～10月、2月2、3日 幹事会及び整備委員会 与那国漁協再整備作業部会及び委員会</p> <p>漁業士研究会等の開催 4月～3月 与那国漁協青年部</p>

事業項目	事業小項目	課題	普及及活動経過
		漁村青少年協議会	<p>○沖縄県漁業士会活動の一環として本年度は、東京で行われた全国漁業士実践活動研究集会へ与那国漁協青年部の上原正且 青年漁業士を派遣。</p> <p>漁村青少年協議会委員 第1回会議（7月29日）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 平成4年度漁業者育成確保促進事業計画</li> <li>2) 平成4年度普及区域指導計画について</li> <li>3) 平成3年度普及活動実績について</li> <li>4) 平成4年度漁業士認定事業実施計画</li> <li>5) 漁協青年部巡回移動相談の実施について</li> <li>6) その他</li> <li>7) 平成4年度モズク養殖の実施状況について</li> <li>8) 平成4年度八重山地区水産振興協議会の活動計画について</li> </ol> <p>第2回会議（10月30日）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 平成4年度普及活動及び担手育成事業の実施状況について</li> <li>2) 平成5年度若い漁業者育成確保促進事業計画について</li> <li>3) 委員のアンケート調査について</li> <li>4) 3地区（本島、宮古、八重山）協議会のアンケート調査の集約について</li> <li>5) アンケート調査の結果について</li> <li>6) 平成4年度漁業士認定事業の実施状況</li> <li>7) 漁協青年部巡回移動相談の実施状況</li> <li>8) 交流学習会の実施状況について</li> <li>9) その他</li> <li>10) 南方研修生の受け入れ状況について</li> <li>11) 八重山漁協、与那国漁協に係る漁業権設定に向けての漁業計画について</li> </ol> <p>第3回会議（3月16日）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 平成4年度普及活動実施状況について</li> <li>2) 平成4年度若い漁業者育成確保促進事業実施状況について</li> <li>3) 八重山地区漁村青少年協議会の開催（年3回開催）別紙参照</li> </ol>

事業項目	事業小項目	課題	普及及活動	経過
			4) 管内技術交流会の開催 5) モズク養殖技術交流会 (与那国漁協青年部) 6) ソデイカ燻製加工講習会 (同漁協婦人部) 7) 交流学習会の開催 (別紙参照) 8) 技術交流会 (モズク養殖及び品質管理) 別紙 9) 全国漁業士実践活動研究集会への派遣 10) 平成4年度漁業士認定事業の実施状況 11) その他・南方漁業技術研修生の受け入れ等 12) 平成5年度若い漁業者育成確保促進事業計画 (3地区計画) 13) その他・八重山地区水産振興協議会活動 (研究成果報告会)	